

名古屋市立当知小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、1月24日(金)に名古屋市立当知小学校、3年生3クラス(84名)を対象に出前講座を実施しました。

講座のねらいは、藤前干潟に生息する生きものに関心を持ち、環境問題について学ぶことです。当知小学校は事前に藤前干潟のワークブックを用いた学習も行っていました。そこで、今回はクイズをはさみながら、ワークブックでの学習をさらに深める講座を進めました。内容は、干潟の仕組みや成立ち、シジミの実験や干潟の鳥類・底生生物について紹介をした後、干潟が保全された経緯やラムサール条約に登録されたことも伝えました。そして、保全された藤前干潟に今も残る問題として、漂着ゴミが生きものに与える影響についても紹介をしました。また、シジミの浄化実験では、実際にシジミが水をきれいにする様子を目の前で観察し、きれいになった水槽を見た児童から驚きの声があがっていました。どのクラスも事前にワークブックを使用してしっかり学習しており、講座に積極的に参加してくれました。

また、この後体験学習で稲永ビジターセンターにも来館し、実際に生きものを見たり干潟に入ったりした後、学習のまとめとしてポスター作りや新聞作りなどをし、授業参観で発表するとのことでした。

今回の学習を機会に藤前干潟の大切さと直面しているゴミ問題について一人一人考えを深めてほしいと思います。

2) 講座の内容

テーマ：「調べよう まちやもの」～藤前干潟～

1. 干潟ってどんなところ？
2. どんな生きものがあるの？
シジミの浄化実験、鳥類・底生生物の紹介
3. 藤前干潟はなくなる場所だった?!
保全活動の経緯、漂着ゴミの問題
4. 質問タイム



*元気にクイズに答える様子



*シジミの浄化実験を確認する様子

3) 実施概要

実施日：令和2年1月24日(金)9:45～12:30

(2時限～4時限、各クラス1時限ずつ)

場所：名古屋市立当知小学校(港区)

対象：小学校3年生(3クラス、84名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員3名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所

(TEL:052-389-2877)までお問い合わせください。

令和2年月1月30日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 山崎 陽子